

今月の幹事



当委員会幹事

山本 泰人 さん

株式会社山本海苔店 代表取締役副社長
日本橋北詰商店会 会長
当委員会都市再生部会 部会長

■日本橋の好きなところ

豊年萬福のテラスから見た
ゼビア色の夕景

■趣味

ジャズと俳句

■好きな食べ物、お店

竹葉亭のうなぎ

利久庵の豚の味噌焼き定食

大勝軒のシューマイライス

ご協力ありがとうございました！
次回もお楽しみに！

日本橋橋上の首都高速道路撤去による、水辺空間の復活を待ち望んでいます。日本橋の北詰のエリア(室町・本町・本石町)は、「熙代勝覧」にもありますように、文化文政の頃に家康によって経済の基盤が確立されたことで、多くの人が全国各地から集まり賑わう場所でした。しかし時代とともに、金融のまちとしての色が濃くなり、今に至ります。これからの日本橋を考える

今回は、当委員会幹事兼都市再生部会部会長の山本泰人さんにお話を伺いました。日本橋橋上の首都高速道路撤去に向けての署名活動について、北詰商店会としてはどのように感じていますか。

と、まちの活性化のためには、江戸の頃のように人が集まる消費経済の中心となることを目指さなければなりません。そのためには、人の移動が不可欠です。魚河岸で栄えた日本橋の特徴を生かすならば、水運を活用したいと考えています。

3月30日に日本橋船着場利用者が30万人を達成しました。

日本橋周辺は橋が点在しておりますので、大きな客船を泊めることはできませんが、水上バスや水上タクシーなど、小規模で高頻度な使い方には適しています。適切に利用できれば、40万人、50万人と増えていくと確信しています。

ルネッサンス委員会はどうしたらよりよい会になると思っていますか。
部会ごとに一生懸命活動するだけでなく、数年に一度でも、異なる部会で連動した活動を行えば、相乗効果が生まれるのではないのでしょうか。

最後に、読者の方にメッセージを一言お願いいたします。

家康が最初に開いた商業の中心地が日本橋です。ぜひ日本橋に来て、その歴史と水辺のある街、人々の賑わいなどを実感してください。



第10回幹事会からこんにちは！ 今月の幹事 山本泰人さん 水辺の活用で さらなる活性化を